第7回知立市総合計画審議会 議事録

令和6年8月7日(水)

午前10時～正午

知立市中央公民館 2階 中会議室

【次第】

1. 第7次知立市総合計画(案)について
2. その他

【出席者】(敬称略・順不同)

鈴木誠、坂本真理子、高橋敦子、永井淳子、三宅守人、新美文二、越智さや香、高木香津恵、松田斉、野本照人、甲斐春美、山下徹也、竹内博之、石原國彦、三浦祥志

【事務局】

企画部長	松永 直久
企画政策課長	伊藤 慎治
課長補佐兼地方創生 SDGs 係長	佐藤 浩二
地方創生 SDGs 係主事	藤本 佳織

【傍聴人】 2名

【議事概要】

進行：会長

1. 第7次知立市総合計画(案)について

事務局より、資料について説明

竹内委員	<ul style="list-style-type: none">カタカナの単語がいくつかあるが、注釈などで説明を加えた方がよいのではないのでしょうか。「バックキャスト」や「ナッジ理論」は説明がありますが、「DX」などについても解説を入れてもらいたいです。
事務局	<ul style="list-style-type: none">カタカナの単語や馴染のない表現については、用語解説を追加していきます。
鈴木会長	<ul style="list-style-type: none">解説は本文の中に入れるイメージか、末尾に用語集として入れるイメージかどちらでしょうか。なるべく分かりやすい本文の中で検討いただきたいと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none">現行計画では巻末に用語集を入れていますが、ページの状況も踏まえ、今回はなるべく語句の近くで解説を記載できるようにしたいと思います。
石原委員	<ul style="list-style-type: none">p.47「21 環境保全・公害防止」の関連計画等について、従来は「人・農地プラン」でしたが、現在は「地域計画(人・農地プラン)」という表現に変えた方がよいかもしれません。
事務局	<ul style="list-style-type: none">表現については関係課に確認して検討します。
松田委員	<ul style="list-style-type: none">知立市平和都市宣言について、宣言をしたうえで具体的な取組を実施しているのでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none">昨年度から中学生を対象とした平和祈念式典を実施しています。被爆体験者の講話や映画鑑賞を通して子どもたちの平和に関する意識を高めています。
鈴木会長	<ul style="list-style-type: none">宣言により市の考え方を表明するとともに、具体の事業を展開し

	ていくという考え方で進めてもらえるとういと思います。
新 美 委 員	<ul style="list-style-type: none"> • p. 8 「1-5 計画策定において認識すべき主な社会経済の変化」の「(4)リニア中央新幹線の開業」について、名鉄特急で1つめに停車する「駅が」ではなく、「駅で」ではないでしょうか。
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> • 知立市内にある4つの駅のうち、1つが神宮前駅から1つ目に停車する駅という趣旨で記載しています。
鈴 木 会 長	<ul style="list-style-type: none"> • 事務局にて表現を検討いただければと思います。
永 井 委 員	<ul style="list-style-type: none"> • パブリックコメントに向けてより多くの人に関心を持ってもらうことが重要だと思います。図面や地図などに目がいきやすいため、p. 18 「3 土地利用の方針」の地図などは興味深く見ていました。もう少し地図を大きくして、知立市役所や観光名所、学区などを載せて自分の住んでいる場所が分かるようになると、関心を持って見てもらえるのではないのでしょうか。 • 市民が計画を見ることへのハードルが高いため、関心を引くページを増やせるとよいと思います。
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> • 現在空白になっている部分に、写真やイラストを挿入していく予定です。指摘を踏まえて、市民の関心を得られるような工夫をしていきます。
鈴 木 会 長	<ul style="list-style-type: none"> • ナッジ理論も踏まえて、市民の行動を後押しする計画にしてもらえると良いと思います。
高 橋 委 員	<ul style="list-style-type: none"> • p. 29 子育てママ・パパに関する記載の「ママ・パパ」という表記の順番について、知立市では「パパ・ママ教室」などもある中で、市としては統一された考え方などはあるのでしょうか。
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> • 特に意図したものではなかったですが、市の他の取組での表記なども確認のうえで検討したいと思います。
高 橋 委 員	<ul style="list-style-type: none"> • LGBTQの方への対応という視点では「ママ・ママ」、「パパ・パパ」が子育てをするといったことも考えられると思います。今後 10年という視点ではそうしたことも考えていけるとよいのではないのでしょうか。
鈴 木 会 長	<ul style="list-style-type: none"> • 用語解説では言葉の意味の説明だけでなく、時代の趨勢なども踏まえて、どのように考えているかを紹介できるとよいと思います。
新 美 委 員	<ul style="list-style-type: none"> • p. 19 「4 こうありたい知立市の未来」について、市民は具体的にどのように変化するのかを知りたいのではないのでしょうか。 • 今後、知立市の交通の要衝としての特性をどのように活かしていくかが重要だと思うため、具体的な記載してもらいたいと思います。祭りや伝統文化なども交通の要衝であったことが要因の一つとなっていると思います。 • 商工会が提唱している TRAIN・PARK 構想が検討されないことは残念に思っています。高架下を活用してコンベンションホールやスポーツ施設などを整備することを記載しています。 • 総合計画に反映することではないかもしれませんが、市民が関心を持つのはそうした具体的な話ではないのでしょうか。総花的な記載も良いですが、どの点でこのまちの価値を高めていくのかという点をもう少し踏み込まないと市民には響かないのではないのでしょうか。市民の関心を引くビジョンを掲げていくことが重要だと思います。
鈴 木 会 長	<ul style="list-style-type: none"> • 基本計画内の表現の仕方として、より市民にとって暮らしやすい

	<p>環境になることをイメージしてもらいやすく工夫するということだと思えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 今回はバックキャストで考えているので、根本的な変更は難しいかもしれません。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> • p.33「基本方針3 知立駅周辺の整備を契機に魅力的なまちをつくる」において、指摘の内容を踏まえて、高架下活用や企業バスの集積などの記載を検討したいと思います。
新美委員	<ul style="list-style-type: none"> • 現在の知立駅を利用すると分かりますが、ホームの移動などは想像よりも大変な印象があります。莫大な税金を活用しているため、整備をしたことで市民の生活が良くなることを記載しなければならないのではないのでしょうか。第7次総合計画のメインになる点だと思えます。 • スモールビジネスなどから、多様な新しいビジネスが高架下で展開されるようになると思います。
鈴木会長	<ul style="list-style-type: none"> • 計画案の記載はハード面の施設整備の方針で無機質となっているため、よほど関心のある人でなければイメージをもって理解することは難しいと思えます。基本計画の分野別の事業と具体の実施計画などを上手く連続させて、良いまちになるイメージを伝えていかなければならないと思えます。
松田委員	<ul style="list-style-type: none"> • 基本構想は視覚的に表現できる部分は絵やイラストにしてもらえるとイメージがしやすいと思えますし、そこから新しい発想が生まれてくるのではないのでしょうか。
越智委員	<ul style="list-style-type: none"> • p.29「1-4-4 国籍に関わらず、育児情報へのアクセスや育児相談・地域でのつながりづくりができる場の創出」の「外国籍の家庭」という表現について、外国人の中には日本国籍の人もいるため、「外国籍の家庭」ではなく「外国人家庭」とする方が一般的であると思えます。「外国籍の家庭」とするのであれば注釈を入れると良いのではないのでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> • ご指摘を踏まえて修正したいと思います。
高橋委員	<ul style="list-style-type: none"> • p.21「(6)高齢者、単身者、外国人はじめ、全ての市民が地域社会の一員であることを認識できている」について、社会の一員として認識されていない人がいるようにも受け取れる気がします。「認識できている」という表現が引っかかりました。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> • 自分自身が社会の一員であることを自覚できているという状態を意図していましたが、他の受け取り方もできるという指摘を踏まえて修正を検討したいと思います。 • (6)のタイトルを例示で補足するのが、タイトル以下の中黒の記載の位置付けとなっていますが、分かりにくいということであれば変更を検討したいと思います。
永井委員	<ul style="list-style-type: none"> • 分かりにくいというよりも誤解を生みやすいということかと思えます。多様な人がいる中で、あえて高齢者・単身者・外国人と挙げると、社会の一員として認識されていなかったのかなと思われるかもしれません。
鈴木会長	<ul style="list-style-type: none"> • 社会的弱者と一括りにされやすい人たちを、地域社会の一員であることを認識できる社会を作っていくという意味だと思えます。
永井委員	<ul style="list-style-type: none"> • あえて取り上げることで、逆に差別感を感じる人もいます。「弱者」という表現も受け入れられない人もいます。基本的には、市民という括りの中で、すべての人が対象だという考え方にしてい

	<p>く方向だと思えます。ただし、10年後には、市民の感覚も変わってくると思えます。</p>
鈴木会長	<ul style="list-style-type: none"> • 表現の仕方を事務局で検討してもらえればと思えます。
石原委員	<ul style="list-style-type: none"> • p.18「3 土地利用の方針」について、知立市都市計画マスタープランの中で、産業促進拠点として市内6か所が位置づけられていますが、図表内の上重原町恩田地区の産業ゾーンを外してもらえないでしょうか。八橋地区や西中地区は企業誘致で照会がありますが、恩田地区はそのような話は聞いていません。恩田地区を外すことで優良農地が残ると思えます。 • 今年の国会では「食料・農業・農村基本法」が改正されました。その中で食糧安全保障の視点から食糧・農地の確保が示されています。農地の狭い知立市でさらに農地が減ると農業を生業としている方たちの経営を逼迫することになります。総合計画で産業ゾーンから恩田地区を外すことで、都市計画マスタープランにも反映されることを期待したいです。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> • 令和2年の都市計画マスタープランの策定時に産業促進拠点を6か所位置づけました。そのタイミングで総合計画の土地利用方針を変更した経緯があります。 • 昨今の総合計画では、土地利用の方針を都市計画マスタープランに委ねる形をとっているケースが見られます。皆さまがよければ、p.18「3 土地利用の方針」の文章はそのまま残して、ゾーニングの図と解説を削除し、具体的な方針は都市計画マスタープランに委ねる形に修正させていただきたいと思えます。
鈴木会長	<ul style="list-style-type: none"> • その方針で合意を得られましたので、よろしく願いいたします。
甲斐委員	<ul style="list-style-type: none"> • p.28「1-1-7 子育てに係る経済的な負担を軽減する仕組み」について、ひとり親であっても経済的に豊かな家庭もあると思えます。教育に関しては経済状況に関係なく平等に受けられるべきではないでしょうか。こども食堂などは経済困窮ではなく居場所として利用する人もいます。ひとり親や生活困窮者に限定してしまうと、それ以外の方が利用しづらくなってしまいうので書き方を工夫してほしいです。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> • 記載の部分は子育て支援の中で特に課題がある点を挙げています。一人親や生活困窮家庭の支援については現在実施している事業をもとに記述した部分です。ご指摘いただいた視点は重要だと思いますが、財源を踏まえて特に課題がある家庭への支援を対象としました。対象者の拡大などは事業レベルでの議論となるため、実施計画での検討となります。
山下委員	<ul style="list-style-type: none"> • p.26「(2) DX (デジタルトランスフォーメーション)・デジタル化の推進」について、デジタル化を通してDXが進むため、順番が逆ではないでしょうか。 • デジタル化自体は必ずしも市民全員に恩恵があるわけではないと思えます。DXは全員が恩恵を受けられるものと認識しています。そのため、デジタル化自体はあえて項目として入れなくてもよいのではないのでしょうか。 • DXによって生活スタイルが変わっていくところまで書けるとよいのではないのでしょうか。
鈴木会長	<ul style="list-style-type: none"> • 大切にしたい考え方の項目であるため、市民のライフスタイルま

	で記述するのは難しいかと思えます。大切にしたい考え方の表明にとどめ、実施計画の部分で具体例は事業として打ち出していく形になるのではないのでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 「デジタル化」は削除して、文章をDX推進に関する内容に修正したいと思えます。
高木委員	<ul style="list-style-type: none"> p.20「(3)市内にコミュニティビジネスが生まれ、様々な形態の小売・サービス、観光事業が登場する」について、コミュニティビジネスは必ずしも地域課題の解決を目指すだけでなく、自己実現として取り組んでいる人も多いため、他の表現とするか定義が明確になるように解説を加えてもらえるとよいと思えます。 「通勤・通学」という言葉が連続で出てくるのでまとめてもよいのではないのでしょうか。 「(4)市民主体による多様な活動を生み出すエコシステムが形成される」について、文脈と「エコシステム」という表現が合わないように思いました。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 市民相互の交流で終わらず、そこから多様な活動が生まれていくという様々な主体による共創の仕組みをエコシステムと表現しました。
鈴木会長	<ul style="list-style-type: none"> エコシステムの考え方はその通りですが、産業イノベーションなどの文脈で使用されることも多いため、あえてエコシステムと表現しなくてもよいのではないのでしょうか。使うのであれば解説を入れた方がよいと思えます。 コミュニティビジネスと言わなくても、「多様なビジネス」や「小さなビジネス」などでも良いかもしれません。 表現については事務局で検討いただきたいと思います。
坂本副会長	<ul style="list-style-type: none"> 活発な議論が繰り広げられており、今回の議論がどのように計画に反映されていくか楽しみにしています。

2. その他

今回の審議会を踏まえた修正案については審議会では諮れないため、修正案は会長に一任することについて、委員からの異議なし

事務局より次回の会議日のお知らせ

第8回 令和6年11月6日(水) 午後2時～4時(市役所3階 第2・3会議室・リモート併用)

※第8回審議会はパブリックコメントの意見を踏まえ、計画を修正しない場合には開催しない

事務局より委員報酬のお知らせ

以上